TAYCA REPORT

第152期　年度報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

テイカ株式会社

証券コード：4027

WE TRY NEW

いつも未来に挑戦

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

当社は第152期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)を終了しましたので、決算の概況などを、ご報告申しあげます。

平成30年6月

代表取締役社長　名木田　正男

当期の業績について

当期は、国内外の新規市場開拓や既存顧客との取引拡大など積極的な営業活動を推し進め、売上高は425億2千1百万円(前期比11.2%増)となりました。

また、製造原価の低減や経営全般にわたる効率化による収益の向上に取り組み、営業利益は60億4千2百万円(前期比3.2%増)、経常利益は61億8百万円(前期比2.3%増)となりましたが、TAYCA(VIETNAM)CO.,LTD.の減損処理に伴う特別損失を計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は36億2千4百万円(前期比11.0%減)となりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、1株当たり14円とさせていただき、平成29年10月1日に実施している株式併合を考慮した場合の中間配当金1株当たり14円と合わせ、年間で1株当たり28円となります。

次期の見通しについて

当社グループを取り巻く事業環境は、まず、汎用用途の酸化チタンに関しましては、現在の需給が逼迫した状態は中長期的には収束に向かうことが見込まれ、原燃料価格の上昇も続いていることから、収益面は厳しくなるものと予想しております。

機能性用途の微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛及び表面処理製品に関しましては、世界的に紫外線対策への関心が高まり、UVカット剤としての需要が旺盛であることから、今後も市場は拡大するものと予想しており、更なる拡販に努めてまいります。

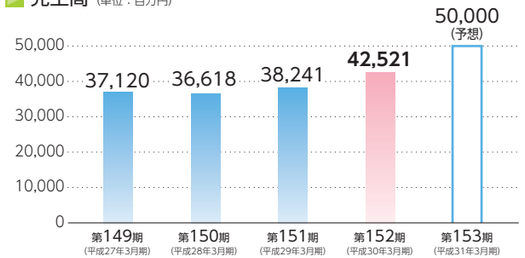
界面活性剤に関しましては、国内洗剤市場の需要拡大が見込めない一方で、依然として成長を続けている東南アジアの洗剤市場向けに、タイ及びベトナムの連結子会社による拡販と、日本を含む3拠点の連携による更なる競争力強化に努めてまいります。

次期の連結業績につきましては、現時点で売上高500億円、営業利益64億円、経常利益65億円、親会社株主に帰属する当期純利益42億円を見込んでおります。

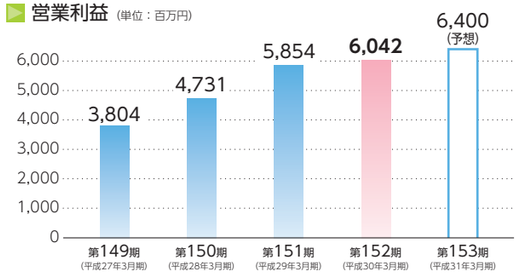
なお、次期の配当につきましては、現時点で当期と比べ4円増配し、中間配当16円、期末配当16円を合わせ、1株当たり32円を予定しております。

連結財務ハイライト

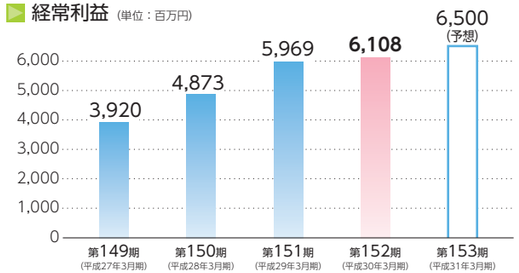
売上高 (単位：百万円)



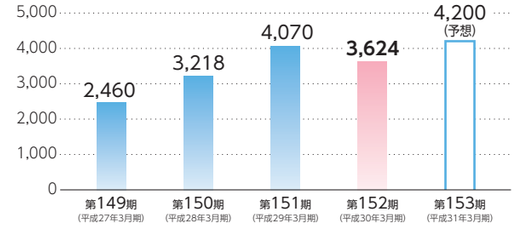
営業利益 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)



セグメント別の概況

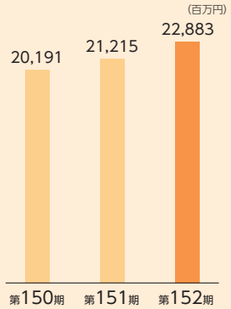
酸化チタン関連事業

●汎用用途の酸化チタンは、国内は塗料・インキ向けの販売が堅調に推移、輸出も東南アジア市場を中心に引き合いが増え、販売数量、売上高ともに前期を上回る。

●機能性用途の微粒子酸化チタン、表面処理製品は、化粧品向けのインバウンド需要や輸出が好調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を上回る。

売上高
酸化チタン関連事業
22,883
百万円
53.8%

7.9%増
（前期比）



主要な事業内容	会社名
酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、赤外線遮蔽酸化チタン、光触媒用酸化チタン等の製造、販売	当社 テイカ商事㈱ ジャパンセリサイト㈱

その他事業

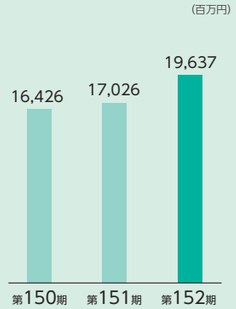
●界面活性剤の国内は、洗剤等日用品向けが堅調に推移し、売上高は前期を上回る。海外の連結子会社は、タイの販売が好調に推移し、売上高は前期を上回る。

●無公害防錆顔料は、国内の販売は前期並み、輸出は堅調に推移し、売上高は前期を上回る。導電性高分子薬剤は販売が順調に推移し、売上高は前期を上回る。

●倉庫業は保管量、運送収入が増加し、売上高は前期を上回る。医療機向けのエレクトロ・セラミックス製品は顧客の在庫調整があり、売上高は前期を下回る。

売上高
その他事業
19,637
百万円
46.2%

15.3%増
（前期比）



主要な事業内容	会社名
界面活性剤、硫酸、無公害防錆顔料、導電性高分子薬剤、エレクトロ・セラミックス製品等の製造、販売 化学工業薬品等の輸送、保管	当社 テイカ倉庫㈱ テイカ商事㈱ ティーエフティー㈱ テイカM&M㈱ TAYCA (Thailand) Co.,Ltd. TAYCA (VIETNAM) CO.,LTD. TRS Technologies,Inc.

T O P I C S
トピックス

熊山工場 機能性微粒子製品製造設備の新設

機能性微粒子製品は岡山工場（岡山市東区西幸西1072番地）において製造しておりますが、化粧品用途を中心に年々、販売量が増加しています。

そこで、岡山工場における既存製造設備の改善とともに熊山工場（岡山県赤磐市小瀬木50番地1）内に機能性微粒子製品を製造する設備を新設することとしました。

熊山工場

起工式（平成30年4月18日）

新設工場概要

- 生産能力増加：1,000トン／年（既存製造設備の改善を含む）
- 新設設備所在地：熊山工場
- 完 成 時 期：平成31年2月末予定
- 設 備 投 資 額：約20億円の予定

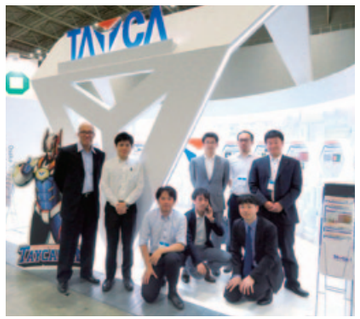
「ケミカル マテリアル Japan 2018」に出展

平成30年5月17日～18日にパシフィコ横浜で開催されました展示会「ケミカル マテリアル Japan 2018」に出展しました。

今回の展示会では、長年培ってきた無機粒子合成技術・スルホン化技術等を応用した機能製品や、新規開発材料を展示しました。

出展製品

- 研磨材料・赤外線遮蔽材料・触媒材料
- 導電性高分子薬剤・導電性処理加工
- 塩素捕捉剤・固体酸触媒・センシング材料



展示会のブース

特 集

テイカのチカラ Vol.8 生産力「新会社」編

テイカの事業について、わかりやすくテイカ博士がご紹介します。
第8回は「新会社」です。

米国TRS社の全株式取得（子会社化）

圧電材料メーカーとのシナジー効果で、事業拡大を目指します。

2018年（平成30年）1月、米国の圧電材料メーカーであるTRS社（TRS Technologies,Inc.）の全株式を取得し、子会社化しました。

TRS社は1990年（平成2年）に設立され、圧電材料の中でも特に圧電単結晶事業に注力しており、この分野のリーディングカンパニーです。当社グループの圧電セラミックス事業とのシナジー効果により、圧電材料の更なる技術革新を進め、当社事業の柱として拡大を目指します。

TRS社（米国）

左：テイカ㈱　名木田社長
右：TRS社　Wesley S. Hackenberger社長

- 名　　称　TRS Technologies,Inc.
- 所 在 地　Suite J, 2820 East College Ave. State College, PA 16801
- 代 表 者　社長兼COO　Wesley S. Hackenberger
- 資 本 金　US$ 124,000
- 設立年月　1990年6月
- 事業内容　圧電材料メーカー
  医療機器・産業用の圧電セラミックス、圧電単結晶製品の製造・販売等

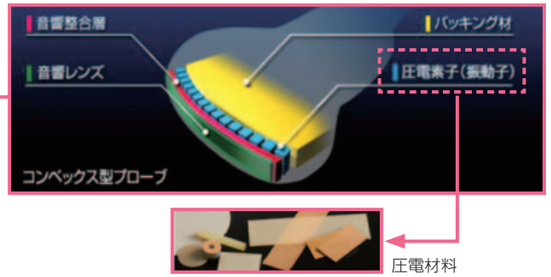
圧電材料とは？

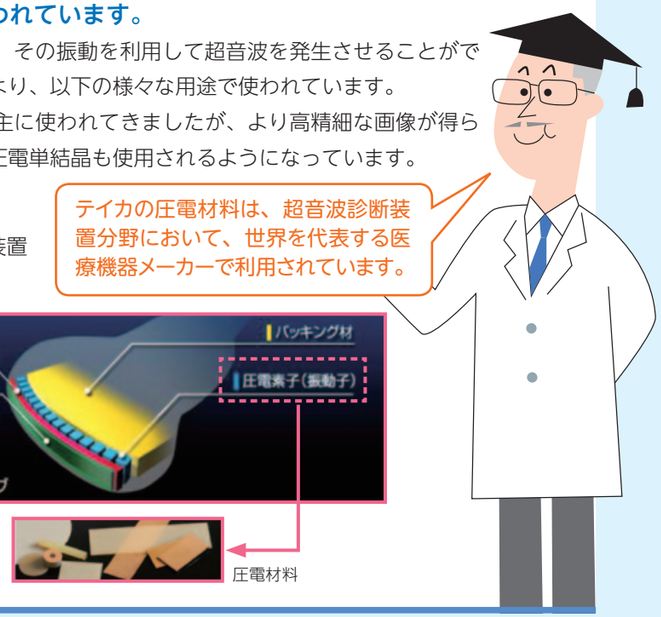
超音波診断装置など、身近なところにも使われています。

電圧を加えることで伸縮を繰り返す圧電材料は、その振動を利用して超音波を発生させることができる材料です。発生した超音波を利用することにより、以下の様々な用途で使われています。

超音波診断装置の分野では圧電セラミックスが主に使われてきましたが、より高精細な画像が得られるため、電気信号と超音波の変換効率に優れた圧電単結晶も使用されるようになっています。

【用途例】
- 体の中を安全に調べることができる超音波診断装置
- 超音波洗浄装置
- 非破壊検査装置



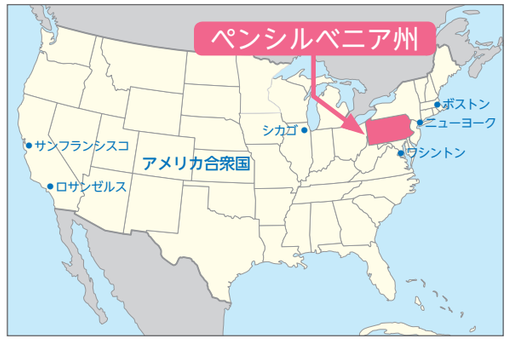


TRS社はどこにあるの？

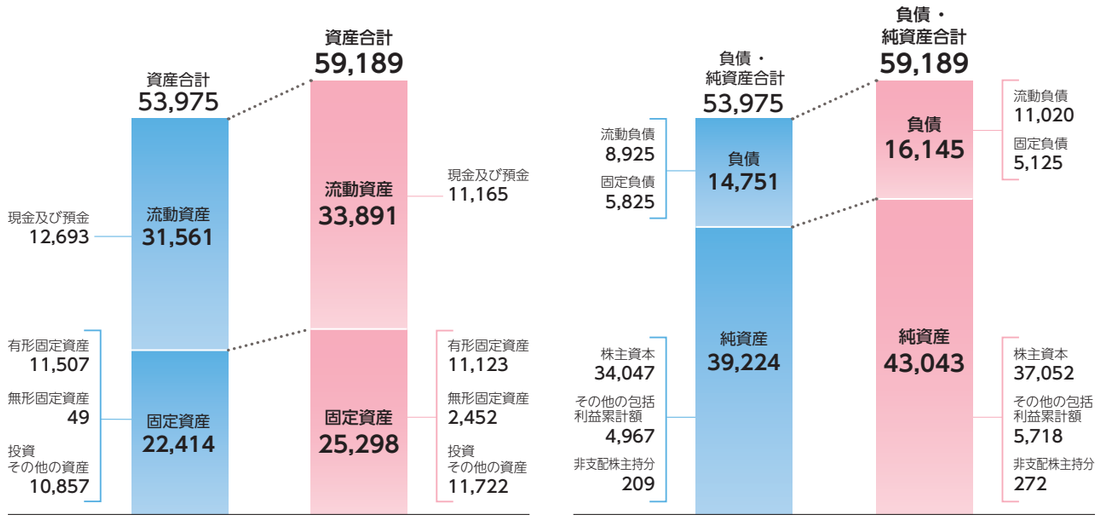
アメリカ北東部のペンシルベニア州にあります。

TRS社はアメリカ合衆国ペンシルベニア州中央部のステートカレッジにあり、ペンシルベニア州立大学が本部キャンパスを構える町です。

気候は、四季のはっきりした気候ですが、最も暑い7月でも平均気温は22℃弱で、30℃を超えることはほとんどありません。一方、12月から3月にかけては気温が氷点下まで下がる日が続きます。



連結貸借対照表の概要（単位：百万円）



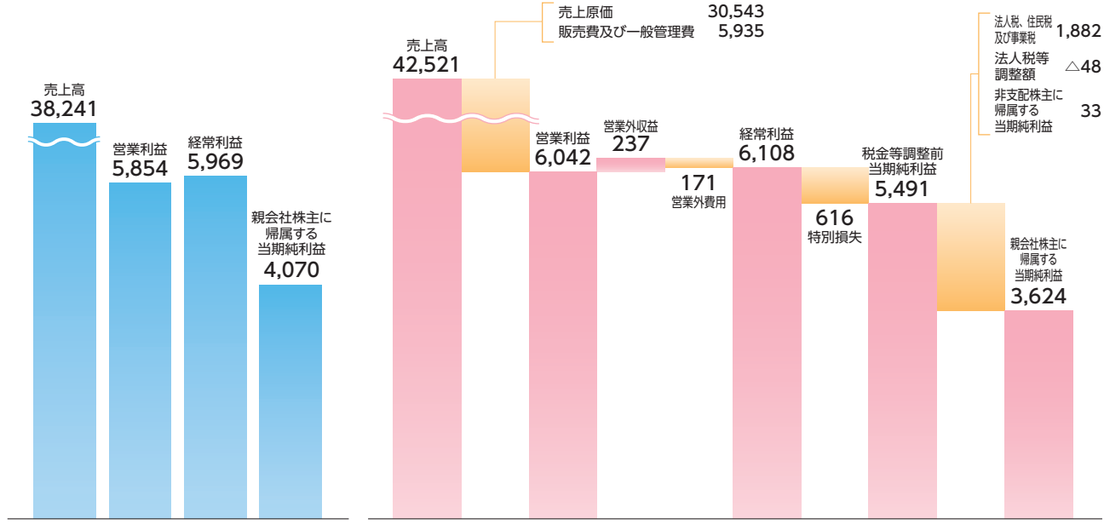
POINT 1 資産合計及び負債・純資産合計

当期末の資産総額は、591億8千9百万円（前期末比52億1千3百万円増加）となりました。これは主に、流動資産では、受取手形及び売掛金が18億8千3百万円、原材料及び貯蔵品が12億8千3百万円、固定資産では、のれんが23億9千3百万円、それぞれ増加したことによります。

負債合計は、161億4千5百万円（前期末比13億9千4百万円増加）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が13億7千4百万円増加したことによります。

純資産合計は、430億4千3百万円（前期末比38億1千9百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金が30億1千2百万円、その他有価証券評価差額金が6億1千1百万円、それぞれ増加したことによります。

連結損益計算書の概要（単位：百万円）



POINT 2 営業利益

国内外での新規市場の開拓や既存顧客との取引拡大など積極的な営業活動を推進するとともに、製造原価の低減、経営全般にわたる効率化を推進することで収益の向上に取り組み、営業利益は前期に比べて増加しました。

平成31年3月期通期連結業績予想（単位：百万円）

	当期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	来期予想 平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで	前期比
売上高	42,521	50,000	+17.6%
営業利益	6,042	6,400	+5.9%
経常利益	6,108	6,500	+6.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,624	4,200	+15.9%

株式の状況 （平成30年3月31日現在）

発行可能株式総数	75,000,000株
発行済株式の総数	25,714,414株
株主数	3,828名

大株主

株主名	所有株式数（千株）
三井物産株式会社	1,784
三菱商事株式会社	1,630
山田産業株式会社	1,470
KBL EPB S.A. 107704	1,380
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	1,009
テイカグループ持株会	960
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	951
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	711
日本土地建物株式会社	694
関西ペイント株式会社	612

（注）当社は、自己株式2,203千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。

分布状況

- 金融機関 …… 18.4%
- 証券会社 …… 0.9%
- その他法人 …… 40.5%
- 外国法人等 …… 15.7%
- 個人その他 …… 24.5%

- 500,000株以上 …… 55.3%
- 100,000株以上 …… 18.3%
- 50,000株以上 …… 7.6%
- 10,000株以上 …… 9.1%
- 1,000株以上 …… 6.8%
- 100株以上 …… 2.8%
- 100株未満 …… 0.1%

（注）当社は、平成29年10月1日付で、単元株式数の変更（1,000株から100株）、株式併合（2株を1株に併合）を実施いたしました。

会社概要 （平成30年6月27日現在）

設立	大正8年12月
資本金	9,855,953,999円
従業員	484名（平成30年3月31日現在）
事業内容	各種化学工業薬品の製造、販売（酸化チタン、界面活性剤、硫酸、微粒子酸化チタン、表面処理製品、無公害防錆顔料ほか）
事業所	
本社事務所	大阪市中央区北浜3丁目6番13号 〒541-0041　電話（06）6208-6400（代）
本店 大阪工場	大阪市大正区船町1丁目3番47号 〒551-0022　電話（06）6555-3250（代）
東京支店	東京都中央区日本橋3丁目8番2号 〒103-0027　電話（03）3275-0815（代）
岡山工場	岡山市東区西幸西1072番地 〒704-8136　電話（086）946-8311（代）
熊山工場	岡山県赤磐市小瀬木50番地1 〒709-0717　電話（086）995-9290（代）

役員	代表取締役社長	名木田　正　男
	専務取締役	山崎　博　史
	常務取締役	辺見　武　志
	取締役相談役	清野　學
	取締役	戸澤　正　明
	取締役	西野　雅　彦
	取締役	出井　俊　治
	取締役	田中　等
	取締役	尾﨑　まみこ
	常勤監査役	岡田　功　勝
	常勤監査役	宮崎　晃
	監査役	山田　裕　幸
	監査役	山本　浩　二

（注）取締役 田中 等、尾﨑まみこの両氏は、社外取締役であります。常勤監査役 岡田功勝ならびに監査役 山田裕幸、山本浩二の各氏は、社外監査役であります。また、当社は株式会社東京証券取引所に対して田中 等、尾﨑まみこ、山田裕幸、山本浩二の各氏を独立役員とする届出書を提出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502　大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話0120-094-777（通話料無料）

（ご注意）
1.株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り次ぎいたします。
3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

公告方法	電子公告 公告掲載URL　http://www.tayca.co.jp/ （ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします）
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第1部

あの日あの時 第10回

1997年4月、TFT株式会社を設立

エレクトロ・セラミックス製品の研究開発及びその製造・販売を目的としたTFT株式会社を1997年（平成9年）4月に設立しました。TFTは、TAYCA FINE TECHNOLOGY（テイカファインテクノロジー）の頭文字を取り命名され、大阪・岡山地区にて操業を開始しました。

その後、1999年（平成11年）には圧電セラミックス製品等の販売及び顧客への技術サービスに特化した企業として再編されました。また、当時の研究・製造部門は当社の電子材料部として、現在に至っています。

焼成炉設備（岡山工場内）

2001年10月、テイカタイランドを設立

2001年（平成13年）10月に東南アジア タイにおける界面活性剤の生産拠点としてテイカタイランド（TAYCA (Thailand) Co.,Ltd.）を設立しました。2003年（平成15年）には工場を竣工し、商業生産を開始しました。

竣工式（2003年3月10日）

TAYCA
テイカ株式会社
http://www.tayca.co.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022337 www.fsc.org
本印刷物は、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

VEGETABLE OIL INK

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。